

日本地学教育学会 2023 年度第 2 回常務委員会議事録

日時：2023 年 11 月 22 日（水）18 時 00 分～19 時 00 分

場所：Zoom による Web 会議

出席者：川村教一，伊藤孝，上栗伸一，小関純一，小森次郎，澤口隆，菅原久誠，高橋修，
中林俊明，平田豊誠，廣木義久，米澤正弘（計 12 名）

議 題：

1. 前回（2023 年度第 1 回）議事録の確認

2. 国際文献社との覚書締結について（澤口）

別刷請求手数料・超過頁請求手数料の請求において，入金確認業務・学会会計への報告業務も国際文献社への委託とし単価も明文化した上で，学会暦 2023 年度の業務委託契約を結んだ。それ以外の点は昨年度を踏襲した。

3. 支部長選出について（澤口）

北海道・東北，関東，中部，近畿，中国・四国，九州・沖縄の各支部から支部長の推薦がなされ，それを承認した。支部長を中心に一層の支部活動の活発化が期待される。

4. 全国大会支援 WG について（澤口）

全国大会支援 WG のこれまでの活動について報告がなされた。今後の全国大会の準備・運営体制の簡易化を視野に置きつつ，2024 年 8 月開催の大分大会の準備を進めるとともに，全業務の明文化・マニュアル化を進めていく方針が確認された。

5. 『地学教育』誌における学位論文の引用について（上栗）

『地学教育』誌における学位論文の引用のあり方について議論がなされた。大学のレポジトリなど公的な機関の HP 等で公開されている博士論文のみ引用可，という意見も出された。本案を軸に編集委員会内で議論を重ねたのち，常務委員会で再度議論し結審することとした。

6. 地理教育学会との合同シンポジウム企画案について（川村）

地学教育と地理教育間の情報・意見交換を活発化し，両教育分野の今後の新展開を促進することをねらいとした「日本地学教育学会・日本地理教育学会合同シンポジウム（仮称）」の開催が提案された。議論の結果，開催趣旨に賛同し成功に向け協力していく旨，確認した。

7. インボイス対応について（中林）

2023年10月1日からインボイス制度の開始と関連し、『地学教育』の有料購読会員様より価格交渉の問い合わせがあった。検討の結果、学会としてはこれまでの価格体制を維持させて頂く旨、ご返答することとした。

8. 大分大会の準備状況について（三次・伊藤）

2024年8月開催の大分大会と関連した巡検については、おおいた豊後大野ジオパークと意見交換を行っている。現時点では、大会翌日の8月20日に、同ジオパーク主催の日帰り巡検を実施するという案を軸に、その可能性を議論している状況である。

9. 会勢および会計について（中林）

入会者は0名、退会者は正会員1名、有料購読会員1名であった。会員種別変更は、正会員から正会員・冊子体購読が1名、正会員・冊子体購読から正会員が6名、学生会員・冊子体購読から学生会員が1名、シニア会員・冊子体購読からシニア会員が2名であった。2023年度末退会予定者は、正会員4名、シニア会員1名である。

*正会員 382, 購読有料会員 21, 購読無料会員 23, 学生 7, 在外 0, シニア会員 75, 名誉 3: 合計 511.

10. その他

川村会長より、当学会へ JpGU 学協会長会議の幹事会メンバーとして参加依頼があった旨、報告があった。検討の結果、受諾することとした。

報 告:

1. 2023年10月実施のミニシンポについて（川村）

2023年10月22日に開催された「SDGs, ジオパークと地学教育に関するオンライン・シンポジウム」について、概要報告がなされた。

2. 各種委員会報告

1) 地学教育編集委員会（上栗）

第76巻第3号については公開に向け編集が進行している。掲載論文数は4編の予定。これ以外の受け付け済み原稿数は10編。内訳は、B判定が1編、C判定が5編、査読中あるいはこれから査読に回るのが4編。

3. その他

なし。